

1 システム基本機能
(1) 操作方法 マウス、キーボードにより操作を行う。
(2) 機器個別発停操作 設定値変更 グラフィック画面、チャート画面、ログ画面またはポイント一覧画面より管理点を選択して機器の発停操作 設定値の変更を行う。
(3) 状態監視 管理点の状態 計測値 計量値の監視を行う。
(4) 警報処理 管理点 システム構成機器の警報発生 復帰の監視を行う。 また、火災時処理 停復電時処理 電力デマンドといった制御の警報発生 復帰の監視を行う。 警報発生時は、最新の警報内容を警報通知ウィンドウに表示すると共に、インジケータの点灯表示を行う。 また、警報レベル（10段階）に応じてフザー鳴動（音色4種類）を行う。 さらに警報時には、警報となった管理点に登録されている対象グラフィックまたはチャートを強制的に表示することができる。
(5) 変化蓄積 定周期スキャンまたは状態変化により前回値から変化した際の時刻とデータを蓄積し、関連アプリケーションへ蓄積データを提供する。 ユーティリティペイン履歴表示 データ集計 チャート表示など
2 基本画面機能
(1) アプリケーションウィンドウ表示 アプリケーションウィンドウとして最大5ウィンドウを目時に表示することができる。 さらに警報時に強制表示するためのウィンドウを1枚表示することができる。
(2) 画面スクロール機能 画面上にすべての情報を表示しきれない場合は、スクロール機能により画面を移動させ表示することができる。
(3) 画面履歴表示 ユーザ毎に、現在の監視用PCで閲覧した画面履歴を1週間分保持し、該当画面を呼び出すことができる。
(4) ユーザ管理とアクセス権 管理点や各種機能を最大50の運用区分(設備 系統 場所等)に振り分けを行う。 ユーザID（最大200）とパスワードを登録し、運用区分に対して操作のアクセス権（表示不可／表示のみ／一般レベル／管理レベル／エンジニアリングレベル）を設定できる。 ユーザのパスワードは、無期限もしくは1日～400日の有効期間を設定することができる。
(5) ポイント一覧表示 詳細表示 ポイント一覧画面で管理点を一覧表示できる。 表示された情報は名称、運転状態、警報状態 等によりフィルタリングができる。 また、ポイント詳細画面で発停操作や設定変更ができる。 重要機器の発停操作時は、通常の発停操作（操作－実行）の他に、確認動作を入れた3アクション操作（操作－確認－実行）を可能とする。 重要機器の発停操作時に、メッセージ表示によりオペレータに注意を促すことができる。
(6) デバイス状態監視 システム構成機器の状態 通信状態を常時監視し、異常時には警報を発する。
3 監視機能（ポイント監視系）
(1) アナログ上下限監視 計測値が設定された上下限値を超えた時に警報を発生させ、上下限範囲に入った際に警報を復帰する。 または、計測値と設定値の差が、設定された値を超えた時に警報を発生させる。 複数の設定値を一括で変更できる。
(2) 活性経過時間 機器の運転時間を監視し、あらかじめ設定された値を超えた機器を一覧形式で表示する。
(3) 状態変化回数 機器の運転（投入）回数を監視し、あらかじめ設定された値を超えた機器を一覧形式で表示する。
(4) 状態継続時間監視 機器が連続して運転となっている時間をカウントし、あらかじめ設定された上限値を超えた時に警報を発生させる。
4 監視機能（一覧表示系）
(1) グラフィック画面表示 建物内の管理点情報を平面図 断面図、または系統図などのグラフィック画面で表示する。 画面上の管理点のシンボルを選択することで、操作／設定値の変更操作を可能とする。 画面のサイズは、任意の大きさに拡大 縮小可能とする。 機器の状態は、状態変化や警報発生時に、シンボルの色変化 形状切換により表示する。 また、警報発生時、指定されたグラフィック画面を強制的に表示する。 計測値 計量値は、数値、色変化、メータ等で表示する。

5 データ管理機能
(1) データ集計 変化蓄積データから、計測値、積算値、機器の運転時間や投入回数の時データ 日データ 月データを集計し、一定期間蓄積する。 データ蓄積期間は次の通りとする。 時データ 本日を含む42日分（14ヶ月分） 日データ 本月を含む120ヶ月分（10年分） 月データ 本年を含む10年分
(2) チャート 変化蓄積またはデータ集計にて蓄積されたデータをグラフで表示する。（最大20点／グラフ） アナログ点 線グラフ（斜線または矩形）、線の積層グラフ デジタル点 線グラフ（矩形）、線の積層グラフ CSV形式のファイルを手動または指定時刻に自動で出力できる。
(3) 日週月年報 データ集計によって集計 蓄積された計測値や積算値を、日週月年報告のXLSX形式で表示する。 日報 時報データ、日集計データ（14ヶ月分） 週報 日報データ、週集計データ（10年分） 月報 日報データ、月集計データ（10年分） 年報 月報データ、年集計データ（10年分） XLSX／CSV形式のファイルを手動または自動で出力できる。
(4) ログ 警報や状態変化、操作設定などの情報をログとして最大100万件蓄積 管理する。 表示中のデータは、任意の条件指定によりフィルタリング、コメント入力ができる。 XLSX／CSV形式のファイルを手動または指定時刻に自動で出力できる。
6 制御機能
(1) カレンタ カレンタの設定を行う。 11種類の日付種別（祝日 特別日 夏季休暇日 冬季休暇日など）を2年先まで指定でき、過去1年分の履歴の確認ができる。 また、ユーザーによるカレンタ設定の変更を可能とする。
(2) スケジュール あらかじめ設定されたスケジュールに従って機器の起動／停止や設定値変更、季節切替を自動で行うことができる。スケジュールは、週間マスタースケジュールと実行スケジュールを有する。 週間マスタースケジュールは、曜日ごとのスケジュールと 最大11種類の日付種別（祝日 特別日 夏季休暇日 冬季休暇日など）に対応する特別なスケジュールを設定できる。 カレンタ情報と週間マスタースケジュールにより、当日を含む7日間の実行スケジュールを作成する。 実行スケジュール上で起動 停止時刻の変更ができる。 対象機器に対して起動／停止の出力動作を1日に最大96回まで出力できる。 また、ユーザーによるスケジュール設定の変更を可能とする。
(3) 数値演算 システムで監視されている様々な値を利用して数値演算を行い、演算結果を管理点に出力できる。 また、ユーザーによる設定の変更を可能とする。
(4) 条件演算 管理点の状態変化 警報発生など、特定条件を満たす場合に機器連動や運転組み合わせ、順次投入、設定値変更などを自動で行う。 また、ユーザーによる設定の変更を可能とする。
(5) 火災時制御 火災信号入力時、フザー鳴動、火災インジケータ点灯表示、ログにより火災発生の通知を行う。 また、火災信号入力時、空調機等の関連機器を自動的に停止することを可能とする。 火災時の動作は、他の制御より優先して実行する。 火災復帰時は、手動操作で火災時制御を解除する。
(6) 停電 商用電源断検出時、フザー鳴動、停電インジケータを点灯表示する。 一般制御は実行保留とする。但し、火災時制御は実行できる。
(7) 自家発時順序出力 自家発起動検出時、登録されている機器に対して順序出力を行う。 また、ユーザーによる制御設定の変更を可能とする。
(8) 復電 商用電源復帰検出時、復電処理を行う。 発停点は停電前の状態及び、停電中に保留された一般制御出力にあわせて起動／停止を行う。
(9) 復電時順序復帰 登録されている管理点に対して、予め指定した順序および間隔で復電処理を行う。 また、ユーザーによる制御設定の変更を可能とする。

(10) 電力デマンド監視 制御 履歴表示
受電電力量を演算し、30分毎のデマンド予測を行う。
目標電力の超過が予測された時及び、超過した時は、警報を発する。
取引用デマンドメータとの同期は、外部信号または操作画面により行う。
デマンド予測が目標電力を超過しないよう負荷の遮断 投入を行う。
またインバータへのアナログ出力値の指定ができる。
遮断 投入は、あらかじめ指定されている優先順位（15レベル）に従う。
電力デマンド制御の結果を履歴として蓄積し目標値及び、デマンド値を表示する。
データ蓄積期間は次の通りとする。
日報（30分毎） 過去833日分
月報（日データ） 過去10年分
年報（月データ） 過去10年分
履歴データはCSV形式でのファイル出力を可能とする。
また、ユーザーによる制御設定の変更を可能とする。

。 枠内を更新範囲とする。